

コラム 「道路メンテナンス技術集団」による「直轄診断」

道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの(複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの等)について、国が地方整備局の職員等で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行う「直轄診断」が平成 26 年度より実施されています。国土交通省は、平成 27 年度においては、全国 3 施設(表-1)の直轄診断を実施することを発表しました。土木研究所は、国土技術政策総合研究所とともに「道路メンテナンス技術集団」の一員として現地へ赴き、技術的支援を行いました。

このうち、沼尾シェッドについては、平成 27 年 10 月下旬に診断に必要な情報を得るための現地調査が実施されました。同施設は昭和 33 年頃に建設された延長 189m のコンクリート製シェッド(覆工)で、過年度に管理者において実施された点検により、損傷箇所が数多く確認された状況でした。当日は高所作業車等を使い、近接目視やハンマーでの打診等により、同施設の劣化・損傷の状況について調査を行い、下郷町長へ現地調査結果の報告がなされました。

3 施設の直轄診断結果については、平成 28 年 1 月に各道路メンテナンス技術集団から各町村に報告されました。

表-1 直轄診断実施施設(国土交通省 HP より抜粋)

県名	町村名	路線名	施設名	建設年	延長(m)	緊急性・高度な技術力の必要性 (市町村での点検結果より)
福島県	しもごうまち 下郷町	町道 ぬまお 沼尾線	ぬまお 沼尾シェッド	昭和33年 頃	189	建設後50年以上が経過し、シェッド上部には土砂の堆積が見られる状況の中、主梁・横梁・支柱部等のひびわれ、うき、鉄筋露出などの損傷が散見
奈良県	とつかわむら 十津川村	村道 ひらたにたけとう 平谷竹筒線	さるかいばし 猿飼橋	昭和49年	139	高度な専門技術が求められるダム湖を跨ぐランガー橋であり、支承部を中心に著しい腐食が散見
佐賀県	からつし 唐津市	市道 よぶこ おおはし 呼子大橋線	よぶこ おおはし 呼子大橋	平成元年	728	高度な専門技術が求められるPC斜張橋を有する橋で、主桁及び橋脚のひびわれ、支承部の腐食、斜材定着部(カバープレート)のボルトの脱落などの損傷が散見



写真-1 沼尾シェッドの点検状況



写真-2 直轄診断結果の報告